

仕 様 書

機器名	消化器内科（肝胆膵）用 超音波画像診断装置
機器構成	下記の機器一式 1 超音波画像診断装置本体 1式 2 アクセサリー類 複式 各種機器 取付、移設を含む

要 求 条 件

I 機器構成内訳	品番	数量
1 超音波画像診断装置本体	ARIETTA850	1 式
2 アクセサリー類		
白黒プリンタ	SSZ-X311	1 式
白黒プリンタ接続キット	PM-L1880-H001	1 式
電子コンベックス探触子	C252	1 式
電子マイクロコンベックス探触子	TGT-C23	1 式
被験者情報自動入力ソフト	SOP-ARIETTA850-6	1 式
DICOMネットワーク通信機能ソフト	SOP-ARIETTA850-10	1 式
Contorasut Hamonic Imagingソフト	SOP-ARIETTA850-44	1 式
オリンパス超音波内視鏡接続ソフト(UCT240,UCT240接続)	SOP-ARIETTA850-17	1 式
オリンパス超音波内視鏡接続ソフト(UCT260接続用)	SOP-ARIETTA850-39	1 式
DICOM接続費		1 式
II 納入条件等		
1 超音波画像診断装置に以下の機能、仕様を有していること		
1-1 基本性能については、以下の要件を満たすこと		
1-1-1 電子コンベックス及び電子リニア、電子セクタ走査方式を有すること		
1-1-2 画面上に表示される警告メッセージは日本語表示となっていること		
1-1-3 表示モードは、Bモード、Mモード、パルスドブラ（PW）法、カラードブラ法、パワードブラ法の機能を有すること		
1-1-4 装置概観は580mm（W）×953mm（D）以下であること		
1-1-5 装置本体は160kg以下であること		
1-1-6 4本以上の電子系探触子を同時に装着できること		

1-1-7	画像ファイリング機能は、本体に1TB以上のハードディスクを有すること
1-1-8	画像表示モニターは、22インチ以上のディスプレイであること
1-1-9	モニターアームはフレキシブルに動かすことができ、モニターの上下左右に動かすことなく手前にモニターを移動することが可能であること
1-1-1	タッチパネルは10インチ以上のカラーT F液晶タッチパネルであること
1-1-1	装置本体の電源容量は900VA以下であること
1-1-1	ルーチン検査における、描出部位、モード、実施計測を時系列にリスト化し、ユーザー操作と連携有すること
1-1-1	検査項目を予めプログラムとして登録し、モード切替やコメント入力、計測等をワンタッチで行い、検査時間の短縮を図ることができる機能を有すること
1-1-1	BモードにおいてはゲインやTGCをDモードにおいては流速やベースラインをワンタッチにて自動で調整する機能を有すること。
1-1-1	オリンパス社製超音波内視鏡（UC240P、UCT240、UCT260）を超音波診断装置に接続するためのジャンクションボックスを有すること
1-1-1	プッシュパルスによって生体組織に発生したせん断弾性波の伝達速度を計測する機能を有すること。
1-2	Bモード断層画像表示機能については、以下の要件を満たすこと
1-2-1	電子フォーカス方式を採用、受信は連続ダイナミックフォーカス方式であること
1-2-2	拡大時には音線密度、フレームレートを最適化する精密拡大機能を有すること
1-2-3	スペckルノイズを低減し、均一でコントラスト分解能の優れた画像を描出できるアダプティブイメージング機能を有すること
1-2-4	電子リニア探触子でB像のオブリークが可能なこと
1-2-5	フォーカス位置の調整をすることなく、均一で横流れの少ない画像を描出できるビームフォーミング手法が可能なこと。 また通常のフォーカスモードにもタッチパネル上でON,OFFが出来ること
1-3	ドブラ血流表示機能については、以下の要件を満たすこと
1-3-1	カラードブラの表示形式は速度表示、速度分散表示、パワー表示を有すること
1-3-2	ドブラモードはパルスドブラ（PW）法による血流波形を表示できること
1-3-3	高フレームレートで、高精細なカラー表示が可能なeFlow機能を有すること
1-3-4	カラードブラ画像とBモード画像を同時に並べてリアルタイム表示ができること
1-3-5	異なる2つ以上のサンプル点のドブラ波形を同時に表示することが可能な機能を有すること
1-3-6	カラー情報から、補正角度を自動設定する機能を有すること
2	白黒プリンタに以下の機能、仕様を有していること
2-1	dot数は960×1280dot以上であること
2-2	プリント階調数は256階調以上であること
2-3	入力信号は、USB2.0信号であること
2-4	プリント用紙は、感熱紙であること

3	電子コンパックス探触子については、以下の要件を満たすこと
3-1	1.0MHz～6.0MHz以上を満たす周波数帯域を送受信できること。
3-2	先端形状の曲率は50Rを採用していること。
3-3	圧電単結晶を採用していること。
4	電子マイクロコンパックス探触子については、以下の要件を満たすこと
4-1	2.0MHz～6.0MHz以上を満たす周波数帯域を送受信できること。
4-2	先端形状の曲率は70Rを採用していること。
4-3	圧電単結晶を採用していること。
4-4	専用のガイドブラケットを用いて穿刺できること。
5	被験者情報自動入力ソフトについては、以下の要件を満たすこと
5-1	超音波装置にバーコードリーダーを接続し、カード（診察券等）に記録された被検者情報を読み込み、自動的に被検者IDを入力ができる機能を有すること。
6	DICOMネットワーク通信機能ソフトについては、以下の要件を満たすこと
6-1	超音波診断装置で表示したフリーズ画像（静止画像）をDICOMサーバーにDICOM3.0規格で転送可能であること。
7	Contorasut Harmonic Imagingソフトについては、以下の要件を満たすこと
7-1	低音圧系、中音圧、高音圧それぞれのコントラスト剤による造影エコーが可能なこと。
7-2	フラッシュボタンにて造影剤を破壊する機能を有すること。
8	オリンパス社製超音波内視鏡接続ソフトについては、以下の要件を満たすこと
8-1	オリンパス社製超音波内視鏡（UC240P）への接続を可能とすること
8-2	オリンパス社製超音波内視鏡（UCT240）への接続を可能とすること
8-3	オリンパス社製超音波内視鏡（UCT260）への接続を可能とすること
9	システム接続費用については、以下の要件を満たすこと
9-1	既存の富士フィルムのシステムに接続可能であること
10	納品
(1)	横浜市立大学附属市民総合医療センターの指定する場所に納品すること
(2)	当院の指定する場所から搬入可能であること。詳細は別途担当者と協議すること
(3)	機器の搬入、据え付け、調整を行うこと
(4)	設置時までには装置等の仕様変更があった場合は、最新の仕様で設置すること
(5)	配送費用一切は本体価格に含むこと
(6)	設置及び、撤去作業によって、既存設備の機能を損なわないこと
(7)	納品は令和3年3月31日までにを行うこと
(8)	受入試験は、当院スタッフ立会いのもとに行い、試験内容等の詳細は別途協議すること

(9)	機器の瑕疵については、無償でその対応を行うこと。また、動作障害などが発生した場合は、 早急に原因を究明し問題解決を図ること
11 保守・メンテナンス	
(1)	発生した故障の修理、および定期点検を実施できる体制が整っていること
(2)	通常の業務時間においては、ユーザーからの障害連絡後、速やかに対応できる体制が整っていること
12 教育	
(1)	操作マニュアルは、管理者及び操作者向けに全ての機器についてデジタルデータを含めて 日本語版で4部以上用意すること
(2)	担当者に対して教育訓練を実施する体制が整っていること
(3)	導入時研修における取扱説明や教育訓練は担当者と事前協議し、必要な人員を派遣し、 十分な技術を取得するまでの期間、無償で対応すること
13 その他	
(1)	契約時には、仕様書の要求条件を満たすことを証明する書類を提出し、承認を得ること
(2)	その他、明記されてない事項で問題が生じた時は、別途協議のうえ、決定すること
(3)	震災対策として振動、転倒等を防ぐための対策を行うこと
(4)	入札直後の打ち合わせから検収までの期間に使用した資料、打ち合わせの内容は全て記録し、 病院側と相互に内容確認すること。議事録と資料はファイリングして複写を含め2部提出すること
(5)	検収後の継続案件についても議事録、課題管理表を作成し、随時提出すること
(6)	本調達及び関連する手術部業務に係るシステム構成図については、デジタルデータを含めて 印刷物を4部提出すること